

客観的な指標の算出方法

学習評価を行うために、履修科目について前期、後期各2回、計4回の定期試験と卒業試験を行う。

1回の定期試験成績に対して、授業内容・提出物・出席率・授業態度を加味して科目評価を行い、50点以上を合格とし、評価得点によって次の5段階評価を学業成績として表す。

(S) 85～100点 (A) 75～84点 (B) 60～74点
(C) 50～59点 (D) 49点以下

D判定評価を受けた科目については、科目ごと1時間の補講を行った後、再試験を実施し、合格点を取ったものは(*C)として判定評価する。

履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を100点満点で点数化し成績分布を算出する